

図書館報

発行者：学校法人 了德寺大学
理事長 了德寺健二

〒279-8567 千葉県浦安市明海5丁目8番1号
TEL：047(382)2111(代表)

第14号

第14号 目次

「図書館長挨拶 図書館とは」..... 2
教養部 池谷 壽夫先生

【特集】
先生のおすすめ！
きっと役立つ一冊

「たのしく免疫学を学ぶために」..... 3
医学教育センター 中島 琢磨先生

「先生！ 力ってそもそも何なんですか！」..... 4
教養部 西川 哲夫先生

「スポーツ関連の職業を志す学生必読の傑作」... 5
整復医療・トレーナー学科 越田 専太郎先生

【特集】
大学生活に役立つ！
経験者からのアドバイス

「1、2年で“正常”を掴め！」..... 6
看護学科3年 佐藤 歩実さん

「テスト対策と臨床実習について」..... 7
理学療法学科4年生 能田 星香さん

図書館の利用方法

✳️ ・図書館で本を探しましょう 8 - 9

✳️ ・雑誌(逐次刊行物)を探しましょう..... 10

継続的に発行されている出版物のことを逐次刊行物といいます。
(代表的なものに雑誌、新聞、年鑑があります。)

✳️ ・雑誌論文を探しましょう
・CiNii論文検索での探し方 11

医中誌・CiNii・メディカルオンラインなどが
図書館HPからアクセスできます。
医中誌・メディカルオンラインの利用は学内のPCから
のアクセスに限られます。

✳️ ・図書館マップ 12



図書館長挨拶 図書館とは

池谷 壽夫先生(教養部)

このたび、新たに図書館長に就任することになりました。ここであらためて図書館の意義を考えることで、挨拶に代えさせていただきたいと思います。

図書館法によると、図書館とは、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存」すること、そして それによって人々の「教養、調査研究、レクリエーション等に資すること」を目的としています。しかし、この定義では図書館の重要性はまったくわかりませんね。

私が思うに、図書館とは何よりも、書物や記録として残された人類のさまざまな文化遺産を収集して、人類の生きた印を記録と記憶として保存し、それを後世の人たちに伝達するためのものではないかと思います。ではなぜ伝達が必要なのでしょう。それは、後世の人たちがそこから「生きる技と術」をまなび、よりよく生きる(well-being)ためだと思います。私たちは、現在の文化や技術が、いや私たちの生そのものが過去の人たちの知恵と思想によって支えられていることを、あらためて思い起こす必要があるのではないのでしょうか。

第2に、そこには、文化遺産や記録として、さまざまな思想の本や記録がありますし、時には支配者に都合の悪い本とされるものも収められ、今では誰でもが図書館に訪れることができます(あらゆる人々が自由に書物や資料に接することができるようになったのは、19世紀後半以降のことです)。誰でも、貧しい者でも富める者でも、そこに行けば、人類の文化遺産としてのさまざまな文化や思想にふれ、学ぶことができます。このような意味合いで、図書館は「人類の文化の自由な宝庫」と言ってもいいでしょう。時の支配者にとって都合の悪い本が、焚書によって消されてきた忌まわしい歴史(始皇帝やナチス・ドイツ、チリのピノチェト軍事政権などによる焚書)は、このことを逆証しているのです。

学生や教職員の方々が了徳寺大学の図書館に行き、憩いの時を過ごしたり、何らかの本に出会えるような、そんな図書館にしたいですね。そのためにも、学生や教職員の方々の支援をお願いしたいと思います。



たのしく免疫学を学ぶために

中島 琢磨先生(医学教育センター)

コメディカルの仕事を選ぼうと考えて入学した皆さんの中には、国家試験の範囲に、思っても見なかったようなたくさんの科目があることに当惑し、「免疫学だとか、微生物学だとか、何でもそんな、めんどくさくて細かくて複雑で、難しい勉強までしなくちゃいけないんだ?」と感じているひともあるでしょう。

「だいたい、人間の体をきちんと動くように助けたり、効率のいいトレーニング・メソッドをカスタマイズしたり、薬じゃ治せない怪我や麻痺からの運動機能の回復治療に専念して、病人の生活をサポートするのが自分の将来の仕事だ! それなのに、ばい菌だとか寄生虫だとか、リンパ球だとかって、覚える必要ないじゃん! 薬飲めばいいんだよ!」

でもね、怪我や加齢に伴う運動機能の喪失に、「炎症」が伴う事って、多いですよ。痛くて赤く腫れ上がる、あれです。

炎症は、身体を護っている免疫の働きによって起こります。目に見える炎症がなくても、運動機能や神経機能に障害を与えるいくつかの疾患には、ばい菌の感染や免疫の異常が関わっています。それらの疾患は早期に対処することが必要なんですが、初期の軽微な運動失調を、専門家であるコ・メディカルが見つけて医師に報告できるかどうかで、患者様が、苦痛の人生から救われることもあるんです。

炎症がなぜ起こるのか? どう収まるのか?
身体を護る仕組みって、どうなっているのか?

を学ぶのが免疫学ですけど、ちゃんとした教科書はとにかくややこしい。最初の数ページでやる気が削がれちゃうってのが、学ぶ側にとって大問題です。

そこで本書を、免疫の重要ポイントを把握するために、入門書としてお勧めします。2年生後期の講義受講前に読んでおくと、講義や専門的な教科書の内容が、驚くほど判りやすくなりますよ。

河本宏著、しおざき忍作画
「マンガでわかる免疫学」
オーム社 2014年6月刊



著者は現在、京都大学の再生医科学研究所でIT細胞についての研究を行っています。HPにもこの本について書いてありました。本人も漫画が好きなので、自分で絵を描いてみたかったとか…本大学の図書館には蔵書がありませんので、これからの期待しましょう



「先生！ 力ってそもそも何なんですか！」

西川 哲夫先生(教養部)

「先生！ 力ってそもそも何なんですか！」と以前学生さんにキレ気味に訊かれてドキッとしたことがあります。物質の成り立ちとそこにはたらく力、そしてその力の起源が何かを知ることは、物理学の究極の目標だからです。

現在自然界には、重力、電磁気力、強い力、弱い力の4種類の力があることが知られています。このうち重力と電磁気力については説明を要しないと思いますが、この本のタイトルになっている「強い力」と「弱い力」はおそらく聞いたことすらないでしょう。

「強い力」は、もともとは陽子や中性子を結びつけて原子核を作る力のことを指していました。なぜ「強い」のかと言うと、陽子はプラスの電気を帯びているので、陽子同士の反発力に逆らって原子核を作るには電気の力より強い力が必要だからです。実は陽子や中性子、それらの間に交換されて陽子・中性子を結びつける役割を果たす中間子は、「クォーク」という素粒子が2つまたは3つ結合してできたものであることが後に分かり、クォーク間にはたらく力のことを「強い力」と現在では呼んでいます。原子核を作る力の起源は、結局はその基本単位であるクォークにはたらく力だからです。強い力は重力や電磁気力とは異なり、近距離では弱く、離れると強くなるという奇妙な性質を持っています。そのおかげでクォークは陽子・中性子の内部では比較的自由に動き回れますが、離れようとするとき強い引力がはたらくので外には出てこれないようになっています。本書では、クォークの存在と強い力の理論(量子色力学)が確立されるまでの歴史的な経緯がおもしろくかつわかりやすく語られています。

3つめの「弱い力」とは、簡単にいうと中性子の崩壊を引き起こす力で、その名の通り、電磁気力や強い力に比べて桁違いに弱く、また力の及ぶ範囲も狭くなっています。近年、質量があることが実験で確かめられて話題になっているニュートリノという素粒子は電気を帯びておらず、弱い力しか感じないため物質とめったに相互作用しません。「地球すら貫通してしまう」と言われているのはそのためです。極端に弱いのは、弱い力を媒介する素粒子が重い(陽子の約100倍)ことによります。ちなみに電磁気力を媒介する素粒子(光子)の質量は0です。だから電磁気力は無限遠方まで届くのです。

素粒子は軽いものから重いものまで色々あります。素粒子がどのようにして質量を獲得するのかを説明するのが本書の副題にもある「ヒッグス機構」で、その元になる「対称性の自発的破れ」という画期的なアイデアを提唱したのは、2008年度にノーベル物理学賞を受賞した3人の日本人研究者のうちの1人、故・南部陽一郎氏です。本書の最後はこの「対称性の自発的破れ」のわかりやすい説明に割かれています。

近年、日本人研究者のノーベル物理学賞受賞が相次いでいます。すでに触れたように8年前には小林・益川・南部の3氏が受賞していますし、昨年度梶田隆章氏がニュートリノの質量発見に対してノーベル賞を受けたことは記憶に新しいと思います。そして、なぜかほとんど触れられることがありませんが、ニュートリノが質量をもつメカニズムと、それによって起こる「ニュートリノ振動」という現象を半世紀以上も前に予言したのも実は日本人です(牧・坂田・中川の理論)。梶田氏らのグループは、このニュートリノ振動を観測することに成功して、ニュートリノに質量があることを発見したのです。本書を読んでも分かると思いますが、素粒子・原子核物理学の建設には、長岡半太郎、湯川秀樹、朝永振一郎以来、日本人の研究者が絶大な貢献をしているのです。私の担当する『現代物理学』の講義を受講して、「ちっとも現代物理じゃないじゃないか！」と思った人はぜひこの本を読んで下さい。

大栗博司

「強い力と弱い力-ヒッグス粒子が
宇宙にかけた魔法を解く-」
幻冬舎新書 2013年2月刊



大栗博司さんは、ブログやtwitterでの話題もおもしろいのです。この本も他の本も、西川先生の研究室にありますよ~。

「スポーツ関連の職業を志す学生必読の傑作」

越田 専太郎先生(整復医療・トレーナー学科)

筆者はデイヴィッド・エプスタイン。大学時代は陸上選手として活躍し、現在は米国の人気スポーツ雑誌「スポーツ・イラストレイテッド」の花形ライターである彼の渾身の一作。本書はスポーツにおける天才とは何か？努力すれば一流になれるのか？スポーツ科学はパフォーマンスに貢献したのか？これらの疑問に対して取り組んだ骨太のスポーツ科学の一般書です。

スポーツの成績に遺伝が関わっていることは疑いない事実です。ケニア全人口の12%に過ぎないカレンジン族が現在の世界の優秀なマラソンランナーの大多数を占めていることはその一例かもしれませんが。彼らの成績がいかに突出しているのか、本書ではアメリカ人マラソンランナーとの比較から説明しています。アメリカ出身のマラソンランナーでこれまで2時間10分以内で走ったものは17人です。しかし、カレンジン族のランナーは1か月で32人がこの記録を突破しているのです。彼らの体つきは特徴的であり、細くそしてかなり長い四肢を有しています。これは彼らの祖先が低緯度の暑く乾燥した気候に適応した結果生じた進化だと考えられています。この身体的特徴はマラソン時においては、スイング時のエネルギー効率の向上に貢献していることがわかっています。この遺伝的要素は明らかに高いパフォーマンスに関連しているのです。

ただし、エプスタインはこれだけではカレンジン族の成績の全てを説明しきれないといえます。本書は環境の変化が生み出した才能を持った人間の競技参加の増大、練習環境の向上、トレーニング方法の開発、栄養摂取、用具の進歩、心理的要素もスポーツ記録の向上に関わってきたことを説明しています。例えば、1904年のマラソン記録は3時間28分53秒でしたが、このときの選手は殺鼠剤とブランドーを摂取していたといえます。これは彼にとっては競技力向上のためのサプリメントだったわけです。もちろん、現在でそのようなことを行う選手はいません。また、世界で初めて1952年に1マイル4分の記録を破ったロジャー・バニスター卿は、好きなだけ練習をする環境が整えられている現在のトップ選手とは異なり、産婦人科の授業をさぼり45分程度の練習時間でした。これらの事実はスポーツ科学の向上、スポーツ環境の改善がスポーツ記録向上に関わったことを裏付ける事実です。

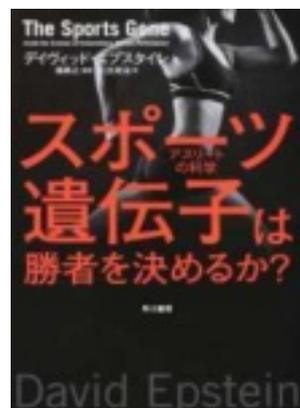
本書ではこのようなスポーツ記録の向上に関わる要因について、多くの取材および学術的に裏付けされたエビデンスや意見がまとめられています。また、人気ライターである彼の語り口に引き込まれること請け合いです。スポーツ関連の職業を志す学生必読の傑作といえるでしょう。

「スポーツ遺伝子は勝者を決めるか? :

アスリートの科学」

デイヴィッド エプスタイン 著

川又政治訳 早川書房 2014年10月刊



780.19||Ap の棚にあったので、読んでみました。ドキュメント番組のようで興味深く、プロとして生きていくことや、才能と努力について考えさせられました。





『1、2年で“正常”を掴め！』

佐藤 歩実さん(看護学科 3年生)

1・2年生の授業でも、国家試験に向けた話がちょくちょく出ていていると思います。しかし、3・4年先の事を今から意識するのは、中々難しい方も多いのではないのでしょうか。そこで、1・2年生でしっかりおさえておきたいポイントを、私なりにアドバイスさせていただきます。

ポイント : 身体の“正常”を理解する！

1・2年生で一番重要なのは、身体の“正常”を理解することです。そのためには、「人体の構造・機能」と「生理学」の2科目が基本です。是非、この2科目は重点的に取り組んでください。しかし、そもそも何故“正常”を理解することが必要なのでしょうか。健康な状態を正常とするならば、病気や障害は異常なことになります。そのため、病気・障害を持つ方を相手にする医療人は、異常なことを学ぶべきではないのでしょうか。……既に、同じ言葉を何度も聞いているかもしれませんが、“正常”を知らなければ“異常”に気がつくことは出来ないのです。

例えば、携帯電話のメール送信の流れを思い浮かべて下さい。メールを送信するためには、メール画面を開き、文字キーを使ってメッセージを入力します。そうすると送信ボタンが押せるようになり、ボタンを押すことで相手に送られる。これが“正常”な流れです。みなさんはこの流れを理解しているからこそ、仮に文字を入力している途中で勝手にメッセージが送信される様になった場合、メールとはこういうものかと思うのではなく、「これは異常だ！」と気がつくことが出来ます。

これは、医療の分野でも言えることです。病気と判断するためには、まず病気ではない正常な状態を知らなければなりません。1・2年生の間に、基本となる“正常”(健康)な状態をしっかりとおさえることで、2年生以降に始まる“異常”(疾病)な状態を理解することへ繋がります。

ポイント : 授業で学べるのは、基本中の基本だけ！

私たちの身体は、とても複雑な造り・働きをしています。そのため、“正常”な部分だけでも膨大な量であり、授業の中で全てを学ぶことは出来ません。授業で学べるのは、基本中の基本だけです。つまり、授業で学んだことを元に、更に自分で深く理解していく必要があります。大学では1コマ120分で計算され、90分の授業以外に、最低30分の自己学習をすることが前提となっています。高校までも、予習・復習の必要性は言われていたと思いますが、大学の場合はそれが当然として組み込まれているのです。

実際、3年生になり、先生方から知っていて当然と言われることが、それまでの授業で習ったものの応用であることは多くなりました。3年後期の実習に向けて、授業内容も濃くなり、スピードも格段に上がるので、1・2年生の間に基本をどれだけ身につけておけるかが鍵となります。

まず、授業内容を理解することが第一であることに違いはありませんが、授業内容だけで安心せず、自己学習で更に基本を深めることも忘れないでください。

最後に...3年生になると、途端に課題やグループワークの量が増え忙しくなります。私は看護学科なので他学科のことは明確ではありませんが、学年が上がるにつれ忙しくなるのは同じだと思います。やりたい事が思いっきり出来る、通常の大学生活を楽しむのは、恐らく2年生までです(3年生以降は、医療大学の学生という色が強くなります)。ぜひ、勉強と上手くバランスを取って、遊ぶこと・楽しむこともたくさんしてください！





テスト対策と臨床実習について

能田 星香さん(理学療法学科 4年生)

私の勉強方法や臨床実習で必要だと感じたことについてご紹介しますので、少しでも皆さんの今後の学習のヒントにしていただければ幸いです。

私は、テスト対策は2週間前には始めるよう心掛けてきました。早めに対策をすることで、テスト前日に全範囲を見直す為の時間を確保すること、そして疑問点を先生方に質問する余裕ができます。先生方に質問をしに行くことは、ご迷惑になるのではないかなどと考えてしまい、私も最初はためらっていました。しかし、どの先生方も快く質問に答えて下さるので、皆さんも是非質問を沢山して下さい。ただし、質問をする時は先生方に失礼のない態度を心掛けることと、何がどう分からないのかを明確に伝えられるようにすることが大切です。この「伝える力」は、臨床実習で患者様への説明や実習先の先生方とのコミュニケーションにも役立ちます。

具体的な勉強方法は、私は授業プリントを中心にただひたすら黙読して覚えていました。書く覚えやすいとよく言いますが、理学療法のテスト範囲はとても広く、一つ一つ書いてはどうしても時間が掛り過ぎてしまいます。そこで、どうしても覚えられない点のみ書くなどの工夫をしていました。勉強方法でこれが一番良いというもの無く、自分に合った方法を探ることが大切だと思います。他者が良いと言っている、自分が納得のいく方法でなければどうしても身が入らないからです。

勉強方法よりも、復習のタイミングが重要であると私は考えています。一定の範囲が終わったらそのまま次の範囲に進まず、一度初めに戻り覚えているかどうかの確認をします。大変な作業かもしれませんが、せっかく覚えたことを記憶として定着させなければもったいないので、皆さんもテスト勉強の際にこまめな復習を心掛けてみて下さい。

3年次の臨床実習では、脊椎圧迫骨折の患者様の評価・治療を体験させて頂きました。評価の細かい手順や結果の解釈の仕方が自分の思っていたものとは異なり、なかなかレポートが進まず苦労しました。しかし、多くの先生方にアドバイスを頂いたり、実際に患者様に触れたり貴重な体験を沢山させて頂いた3週間はとても楽しかったです。

実習は、ROMやMMT測定などの評価を一人で行えることが前提で始まります。しかし、実習直前は期末テストがあったり、実習の為に対策しなければならないことが他にも沢山あり、評価法の対策を十分に確保することは困難です。そのため、評価法は授業時間内にできるだけ多く練習し、その場で身に付ける気持ちで取り組むと良いと思います。

最後に皆さんへ一言。理学療法学科は1年から4年までずっと忙しく、大変です。経験したいと思っていることは後回しにせず、どんどん取り組んで下さい。そして、メリハリのある充実した生活を楽しんで下さい。

実習期間中には貸出延長申請を利用すると便利です

貸出延長申請の申込方法

カウンター前の記載台に申込書があります。
必要事項を記入して、貸出の際に提出してください。



図書館で本を探しましょう

OPAC：オーパック (蔵書検索端末)

了徳寺大学附属図書館に所蔵している資料は館内受付カウンター前にあるOPAC(蔵書検索端末)で検索します。IE(Internet Explorer)を起動させると検索画面が表示されます。



専用端末は蔵書検索以外の用途にはご利用になれません。レポート作成など、PC利用をご希望の方はパソコンルームをご利用ください。

検索トップページ

フリーワード検索
調べたいキーワードを入力して検索する。

条件項目検索
書名・著者名・出版年など、具体的な条件で検索する。



書名や著者名で検索する場合は、入力間違いに注意しましょう。うまく検索できない場合は書名の中の単語を抜き出して検索してみましょう。

フリーワード検索

条件項目検索

各検索画面から、条件を入力して検索ボタンをクリック
(トップページからもフリーワード検索ができます)

検索結果一覧画面

検索結果一覧画面

検索条件に該当する資料の一覧が表示されます。各資料の書名をクリックすると詳細が閲覧できます。

この結果から絞込み検索もできます。



書名をクリックして資料の詳細画面へ

資料の配架場所が詳細画面から確認できます。「書庫」・「研究室」・「カウンター」の資料は職員へお申し出ください。

資料詳細画面

請求記号

配架場所コード	
分類記号1	491.1
著者記号	Ma
副本記号	
書名	人体の構造と機能
著書名	
シリーズNo.	
巻次	
版表示	第2版
著者名	エリン N. マリーブ著 林正徳二 [ほか]訳
登録番号	00026788
和洋区分	和書
備考	
出版者	医学書院

請求記号とは

図書館資料の背に貼ってあるラベルの番号を「請求記号」といいます。

請求記号は、

資料の主題を表す**分類記号**
著者の頭文字をローマ字で表す**著者記号**
シリーズものに付与される**巻次記号**
の3段によって構成されています。

同一の主題の本をまとめて書棚におくことで
図書・資料を探しやすくするためのものです。

請求記号は資料のテーマや分野、配架場所、
棚での並び順がわかる大事な情報です。

(分類法はいくつもありますが、了徳寺大学附属図書館では、
公共図書館でも多く使われている日本十進分類法に基づいて分
類しています。)

分類記号

著者記号

巻次記号

書名、請求記号を確認して
書棚へ探しに行きましょう。
「OPAC利用票」にメモをとる
と便利です。



背ラベル

資料の背ラベルを
確認しましょう。

よく使われる図書の分類記号

教育	370 ~ 379.9
医学	490 ~ 499.9
基礎医学	491
臨床医学	492
理学療法	492.5
看護学	492.9
内科学	493
外科学	494
衛生学	498
スポーツ	780
体育医学	780.19



書棚はOPACより見て
左から0(000)~9(900)の
番号順に並んでいます。



分類記号 著者記号の
順に探します。

資料の増加によって、配架場所は移動するこ
とがあります。書棚の位置を記憶するのではなく、
分類記号で探す方法を覚えましょう。



閲覧した資料は、請求記号にしたがって
定位置に戻してください。

雑誌（逐次刊行物）を探しましょう

図書と同様にOPACで
所蔵があるかを調べます。

OPACでは雑誌に収録されている
記事・論文のタイトルや著者名を
検索することはできません。
(雑誌の特集は表記されます)

雑誌索引検索

図書館で所蔵している
雑誌を
雑誌名の五十音順で
検索できます。

検索トップページ



条件項目検索

条件項目検索で探す場合、
資料区分は「逐次刊行物」を
選択してください。
継続的に発行されている
出版物のことを逐次刊行物と
いいます。
(代表的なものに雑誌、新聞、
年鑑があります。)

条件項目で探す



所蔵なし

所蔵あり

了徳寺大学附属図書館に所蔵がない場合

探し方

CiNii（NII学術情報ナビゲータ）

：国内の大学図書館の蔵書情報を収録した書籍・雑誌データベースです。
学術的な書籍・専門雑誌などの資料が検索できます。
図書館HPからアクセスできます。

国立国会図書館サーチ

：国立国会図書館所蔵の和・洋の図書、雑誌、新聞、電子資料、
国内博士論文などの検索ができます。

所蔵のない資料の取り寄せ・閲覧の仕方

他大学図書館を訪問

紹介状を発行します

紹介状の発行には2週間ほどお時間がかかります。

文献複写・現物貸借（ ）



了徳寺大学附属図書館の所蔵雑誌は、教養・
健康科学・看護・芸術・洋雑誌の書棚に
それぞれ五十音順（洋雑誌はアルファベット
順）に並んでいます。

文献複写・現物貸借の申込み

他大学や研究機関の図書館へ依頼して
取り寄せることができます。



カウンター前に申込用紙があります



雑誌論文を探しましょう

CiNii論文検索での探し方

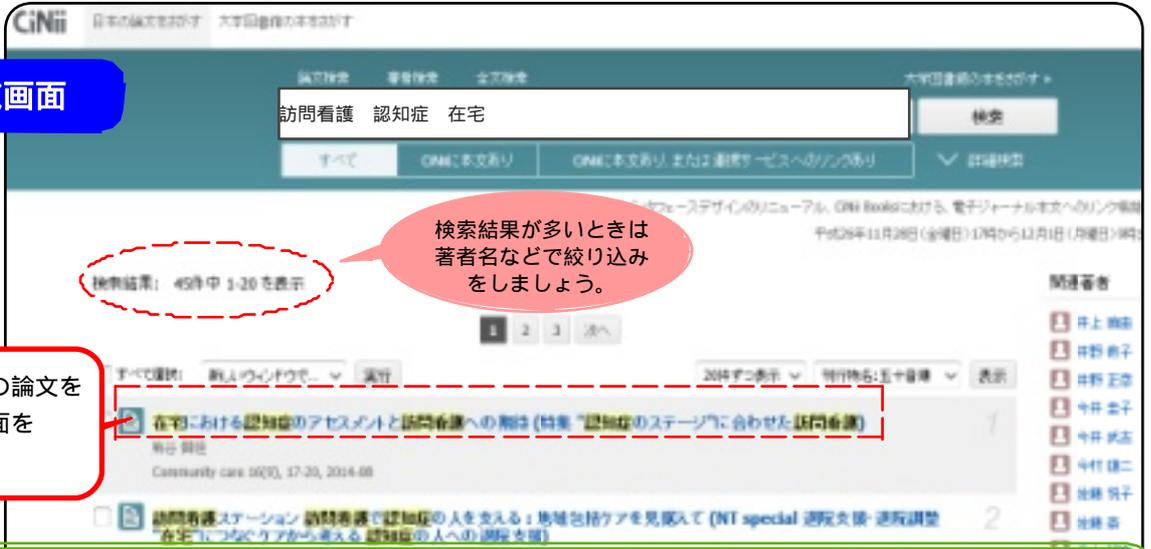
CiNii Articles-日本の論文を探す(NII論文情報ナビゲータ)は国内外の学術雑誌・研究紀要の文献情報が検索できます。(2017年3月末まで)

図書館HPよりリンクしています。 <http://ci.nii.ac.jp/>

CiNii論文検索 トップページ



検索結果一覧画面



検索結果一覧から、目的の論文をクリックし、詳細画面を確認しましょう。

検索結果一覧で表示されるアイコン

論文が公開されている場合にのみ表示されるアイコンです。クリックしてリンクの詳細を確認してみましょう。他の論文検索サイト【医中誌など】へのリンクが表示されることもあります。

大学機関等で公開

CiNii PDF - オープンアクセス 機関リポジトリ

J-STAGE 医中誌Web CrossRef

CiNii PDF - 定額アクセス可能

有料公開の場合は利用できません。

論文詳細画面



了徳寺大学も2016年6月より公開しています。第1号より現在まで出版された了徳寺大学研究紀要がみられます。

雑誌名、巻(号)、ページ、発行年 - 発行月を表します。雑誌を探す時に必要になるので、こちらをメモにとりましょう。

収録刊行物の所蔵状況調べたい場合はこちらをクリックしてください。「CiNii Books-大学図書館の本をさがす」にリンクしています。全国の大学図書館の所蔵状況がわかります。

所蔵状況は下記のように表記されます。
所蔵大学図書館名 所蔵発行年：西暦 - 所蔵巻号：巻(号) - ()

図書館マップ

開館時間

月～金曜日 8:30～20:20
 土曜日 8:50～16:50
 休館日…日曜、祝日、大学休校日、館内整理日、年末年始

カメラのシャッター音も話し声も、関係ない人にとっては騒音で、思っているよりもその音は響きます。

学習・読書中の方がいます。館内では静かに過ごしましょう。

図書・雑誌
 図書は内容ごとに分類されて並んでいます(分類記号順)。
 図書の貸出はカウンターで行っています。
 雑誌は学科ごとに五十音順で並んでいます。
 雑誌の貸出はできません。(閲覧のみとなります。)

書庫
 古い雑誌と、過去1年分の新聞が保管されています。ご利用の際は職員にお申し出ください。

パソコンルーム (Windows)

パソコンルーム
 図書館開館時間内はご自由にご利用ください。視聴覚資料はこちらでご覧になれます。その際はカウンターでヘッドフォンをお借りください。ただし、遊びの場所ではないのでお静かに。

閲覧・自習スペース

図書

分類記号000

分類記号999

スタディールーム (6室)

スタディールーム
 1人用の自習室です。

雑誌

レファレンス
 紀要・論文集・新聞

小説
 読物

コピー機

女子トイレ

男子トイレ

レファレンス
 辞書などの参考書が配架されています。ここにある資料は全て、館外には持ち出せません。館内でご覧ください。

OPAC (蔵書検索端末)

OPAC
 館内の資料を探すためのコンピュータです。蔵書検索以外の用途ではご利用になりません。WordやPowerPointを使いたい方はパソコンルームへどうぞ。

カウンター

カウンター
 カウンター
 図書の貸出・返却、スタディールーム・グループ研究室のお申し込みはこちら。また、分からないことがあります。お気軽にお尋ねください。

キャリア支援室
 就職活動に関する資料があります。

カバンや袋、飲食物は持込禁止です。ご自分のロッカー又は図書館のロッカーに荷物をしまってからお入りください。持ち込んだ場合、担任の先生に伝えます。

図書館の資料は、あなただけのものではありません。これから利用する同級生や後輩のために、大切に扱ってください。